

のお知らせ

●問い合わせ●
鴻巣保健センター ☎543-1561、FAX 543-5749
吹上保健センター ☎548-6252、FAX 549-2696
※鴻巣保健センターに車でお越しの方は、市役所
駐車場をご利用ください

予防接種のご案内

問合せ 鴻巣保健センター

接種は委託医療機関（左表）での個別接種です。予約の上、接種を受けてください。なお、市外の医療機関で接種する際はお問い合わせください。

大人の予防接種

接種する際は、住所・生年月日がわかる本人確認書類が必要です。任意予防接種は北本市・桶川市・伊奈町の委託医療機関でも接種できます。

■定期予防接種

高齢者の肺炎球菌

対象 ①65歳の方 ②60歳～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方（身体障害者手帳1級相当） ※過去に受けた方は対象外

費用 2,500円 **助成回数** 1回

持ち物 予診票（対象者に郵送）、②の方は身体障害者手帳

■市独自の助成を行う任意予防接種

高齢者の肺炎球菌

対象 ①66歳以上の方 ②2回目の接種で、前回から概ね5年以上経過している方

費用 4,100円

助成回数 市の助成を受けたか否かに関わらず、2回目の接種まで

成人男性の風しん抗体検査・定期予防接種（今年度で終了）

公的に予防接種を受ける機会が無かった成人男性が無料で抗体検査・予防接種を受けられます。

期間 令和7年3月31日まで

対象 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれで抗体検査未受検の男性 ※検査の結果、抗体価が基準値以下の方は予防接種を受けます

持ち物 クーポン券（対象者に郵送済）

带状疱疹

対象 50歳以上の方 ※過去に助成を受けた方は対象外

助成費用 接種費用のうち4,000円を助成

助成回数 生ワクチン1回又は不活性ワクチン2回

こどもの予防接種

出生後・転入後に予防接種の案内を郵送しています。市から郵送された案内「予防接種と子どもの健康」や、市HPをよく読み、医療機関に予約のうえ接種を受けてください。案内が届かない方や転入後すぐに予防接種を希望する方、市外医療機関での接種を希望される方はお問い合わせください。

■定期予防接種

予防接種法に基づくもので、対象の年齢・期間であれば無料で接種ができます。詳細は市HP（右記QRコード）をご覧ください。



■任意予防接種

保護者の希望により接種する予防接種です。疾病予防と子育て支援を目的に費用を一部助成しています。

種類	対象年齢【回数】	費用
おたふくかぜ	1歳～就学前年度【1回】	3,500円
不活化ポリオ	平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ【令和7年3月31日までに1回】	5,000円

5月12日(日) 外科の 休日当番医を変更

変更前 こうほく腎・泌尿器科クリニック

変更後 こうのす共生病院

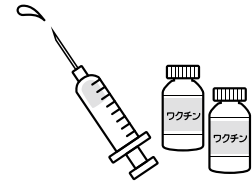




保健センターからの

■すべての予防接種を実施する医療機関

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
河野小児科医院	541-0146	はやしだ産婦人科	541-8000
小室クリニック	541-0020	吹上整形外科医院	548-5211



■一部の予防接種を実施する医療機関（★＝高齢者肺炎球菌のみ）

医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号	医療機関名	電話番号
相原医院★	569-1951	佐野医院	541-2888	ふたむら内科クリニック	540-6635
あおばクリニック	580-5670	サンビレッジクリニック鴻巣	540-0088	プライムクリニック	543-8888
赤見台整形外科	595-1100	清水こども医院	540-6360	ヘリオス会病院	569-3111
おおさきクリニック	580-7720	昭和クリニック	548-0025	ヘリオスクリニック	540-7320
大塚医院	541-0932	高橋胃腸科医院	542-5018	星野医院	542-8911
北鴻巣クリニック	596-1423	たけうちクリニック	594-7701	宮坂医院	569-0100
こうのす共生病院	541-1131	田嶋医院	548-6230	村越外科胃腸科肛門科	548-0048
鴻巣外科胃腸科	543-7770	坪山整形外科	548-0052	山口内科クリニック	541-0215
鴻巣第一クリニック	542-5566	中村医院	541-1331	山田ハートクリニック	540-4180
鴻北クリニック	595-3733	仁科整形外科	543-7099	湯本フラワー通りクリニック	595-1711
埼玉県済生会鴻巣病院★	596-2221	ひまわりこどもクリニック	544-5600	よねだ内科・呼吸器クリニック	548-5711
埼玉脳神経外科病院★	541-2800	平野産婦人科医院	548-4422	わたまクリニック	541-5756
斎藤内科胃腸医院	541-4345	吹上共立診療所	548-3865		

40歳からの歯科健診

期間 令和7年3月31日(月)まで

対象 昭和60年4月1日以前生まれで健診日に市内在住の方 費用 400円

その他 申込時に実施医療機関一覧表を配布

申込み・問合せ 電話もしくは鴻巣保健センターへ来所又は電子申請

20歳の歯科健診も実施中。詳細は受診券をご覧ください



健康生活

花粉症と薬

春のスギやヒノキ、秋のブタクサなどの花粉が体内に入ることによって起こる季節性のアレルギー疾患を花粉症と呼びます。症状は、くしゃみや鼻水、アレルギー性結膜炎としての目のかゆみや充血などです。

内服薬は抗ヒスタミン薬が使われ、この薬には第1世代と第2世代があります。

第1世代は、くしゃみ、鼻水に対する効果は高いですが、副作用として眠気・口の渇き・倦怠感などがあり、車の運転や危険な作業をする人には注意が必要です。

第2世代は、副作用が少なく持続時間が長いので現在の主流となっており、1日1・2回で効果が得られます。

また、鼻つまりがひどいときには抗ロイコトリエン薬を併用します。その他には症状の緩和を期待する漢方薬を使用することもあります。

さらに、最近では減感作療法のひとつとして舌下免疫療法があります。これはアレルギー物質を少しずつ体内に取り入れ、徐々にアレルギーに慣らしていく抗体を作る治療法です。治療には医師の監督のもと副作用が出ないか注意しながら行い、3年程度継続する必要があります。

外用薬は部位によって異なり、鼻症状はステロイド点鼻薬、目の症状は抗ヒスタミン又はステロイド点眼薬を使用します。

花粉症は長く付き合う病気なので、マスクや眼鏡などで花粉になるべく接しないなどの基本的な対策をしながら、自分にあった予防方法を見つけて上手に付き合ってください。

(鴻巣薬剤師会)

